学校法人 内田学園　　七沢希望の丘初等学校

ぼちぼちいこか

学校だより６月号　　2025.5.30発行

教育理念
生きる喜びを抱き
自ら学びを拓く

深まる友情 高まるリーダー性　*～1泊２日のキャンプを通して～*

校 長　大谷 京司

５月 23 日(金)、24 日(土)の１泊２日で、1～6 年生全員参加の学校宿泊キャンプを実施しました。雨や暑さの心配をよそに２日間とも過ごしやすい天候に恵まれ、自然の中での体験活動を満喫することができました。

	主な活動
１日目	カヌー・カヤック体験(宮ケ瀬湖) 入浴(温泉　七沢荘) 夕食作り(学校・カレーライス他) キャンプファイヤー(学校・幼初合同)
2日目	宝探し(学校) ウォークラリー(学校～日向薬師) マスづかみ(日向渓谷マス釣り場) バーベキュー(同上)

自然の中での様々な体験は、いつも元気な子どもたちをより一層元気にしてくれます。それは、自分で考えて判断して行動することが常に求められ、失敗してもめげている暇なく次にどうしたらよいか即座に自分の中で作戦を立て実践しようと前向きな思考が働き、それが快いのだと思います。

この宿泊行事を通して、1 年生も含めてそれぞれが係の仕事を受け持ち、その役割を責任もって果たそうと努力していました。個人での活動や家庭生活とは異なる集団生活へ自分自身が貢献する喜びということを感じる契機になったのではないかと思います。

さらに、5･6 年生のリーダーとしての成長ぶりも実感できました。1年生に仕事の内容を優しく教えてあげている姿や、全体で集まる際、自らが遅れてしまった時など走ってその場に駆けつけ、すぐに人員点呼を行っていた姿などはとても印象的でした。

キャンプ後の振り返りでは、協力という点ではかなりみんな意識できていたものの、もう少し素早く集合できたり、話をしっかり聞くことができたりすればよかったなどの意見が出ていました。また、低学年からは、もっと泊まりたかったなどという意見も出され、今回のキャンプがいかに楽しかったかを物語っているようでした。

卒業生 「礼」を語る

第6期卒業生の横尾さんが、道場で子どもたちに教えている空手を通して、「礼」について語ってくれました。

みんなの前に道着で立つと最初に空手の型を披露してくれました。１つ１つの所作に気合が込められ、場の空気も一瞬できりっと引き締まりました。

「礼」はただの作法ではなく、人と人との関係を結ぶ第一歩。心をこめて行ってほしい。というメッセージを子どもたちに熱く語ってくれました。

子どもたちからも、「礼」は人の気持ちをよくするもの、相手のことを思いやって行うことが大切などの感想が聞かれ、大事なことがしっかり伝わったようです。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

子どもの体力・運動能力の状況を把握し、学校の体育・保健の授業等の充実・改善を図るため、今年も8項目にわたる調査を全学年で実施しました。各自、自分の目標を定めて挑戦する姿やそれを応援する姿には感動すら覚えました。5年生については、6月にオンラインで運動習慣等の調査を行う予定です。全国と本校の調査結果等は、後日報告いたします。

青空の下 みんなで田植え

5月28日（水）、朝方は小雨がぱらついていたものの、子どもたちの登校時間になると青空が広がり、気持ちの良い風を感じながら、今年も田植えを行うことができました。

前日の事前指導では、田起こしや代掻きなど、大変な作業を地域の方に行っていただいたうえで今回の田植えに至ること、米作りには多くの手間がかかることを学習しました。

今年植えた苗は、「喜寿糯」というもち米です。毎年 JA から分けていただき、2週間程学校で水やりをしながら成長させ、今回田に植えました。今後、水の管理をしっかり行いながら、7月には中干しを、8月には稗抜きなどを行いながら秋の収穫期を待つことになります。

今回、大変多くの保護者の方々にご協力をいただき、とても助かりました。子どもたちの列に入って苗を植えていただいたのみならず、低学年の児童に寄り添って丁寧に支援していただいたおかげで、子どもたちも安心して取り組むことができました。ありがとうございました。